

議員提出議案第7号

地球温暖化防止対策の一層の強化を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

令和3年(2021年)12月17日

提出者 八王子市議会議員 鈴木 勇 次

賛成者 八王子市議会議員 木 田 彩

同 望 月 翔 平

同 前 田 佳 子

同 石 井 宏 和

八王子市議会議長

吉 本 孝 良 殿

## 地球温暖化防止対策の一層の強化を求める意見書

コロナ禍のもと1年延期された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）は、2021年10月31日から11月13日まで英国グラスゴーで開かれた。同会議では、6年前のパリ協定の「地球温暖化を産業革命前の2度未満に保つとともに、1.5度に抑えるよう努力する」とされていた内容を、「世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力を追求することを決意する。」とした。また、「気温上昇を抑えるためにこの10年間での行動を加速する必要があると明記し、各国の2030年に向けたCO<sub>2</sub>の排出削減の目標について2022年の末までに必要に応じて検証し、さらに強化することを要請する。」ことで合意した。このことはCOP26の大きな成果として確認できる。

しかし、一方では国際環境団体が日本など主要な6ヵ国に対し化石賞を付与するなどの評価が下されたことも特徴的な出来事だった。

進行する地球の気候温暖化に対応するため、合意された方向で各国がさらなる努力をすることが求められている。

よって、八王子市議会は、国会及び政府に対し、CO<sub>2</sub>の大きな排出原因とされる石炭火力発電所の課題を整理・検証し、合意文書に基づき2022年末までにCO<sub>2</sub>排出削減目標を強化することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年(2021年)12月17日

議長名

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
環境大臣

} あて